

競技注意事項

1, 競技規則について

本大会は、2017年日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項によって行う。

2, 練習について

- (1) 練習は、競技場横の多目的グラウンド（トラックはありません）及び雨天練習場を使用すること。多目的グラウンド周辺は練習禁止とする。ただしトリム周回コースでのジョギング程度は行っても構わない。投てき練習（メディシンボール等を含む）は、競技場内外問わず禁止する。ハードルとスタブロは、多目的グラウンドのオールウェザー直走路に用意する。

使用時間帯 9月14日（木） 13:00 ~ 17:00
9月15日（金）～17日（日） 7:30 ~ 競技終了まで

(2) 競技場の使用時間帯

9月14日（木） 13:00 ~ 17:00
(トラック・跳躍種目の使用可)
9月15日（金） 7:30 ~ 8:30
9月16日（土）～17日（日） 7:30 ~ 8:45
(3日間ともトラック・跳躍種目の使用可)

- ①競技場・オールウェザー直走路・雨天練習場でのゴムチューブ・ミニハードル等の使用は禁止する。

- ②ハードル、スターティングブロックは備え付けの使用のみとする。

- ③棒高跳の助走路・マットを使用する練習は下記の通りとする。

14日（木） 男子13:00～15:00 ・ 女子15:00～17:00
15日（金） 1年男子7:30～8:30 ・ 1年女子 1年男子競技終了後～13:20
16日（土） 2年男子7:30～8:45 ・ 2年女子 2年男子競技終了後～13:20
ただし、14日（木）・15日（金）朝・16日（土）朝のピット周辺スペースにおいては、この限りではない。

- ④レーンの使用について

1・2レーン中長距離・競歩 3～6レーン短距離（リレー含む） 7・8レーン ハードル

3, 招集について

- (1) 招集所は、競技場第4コーナーの外側に設ける。

- (2) 種目別の招集開始時刻、完了時刻は、プログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 招集の手順

- ①招集開始時刻に競技者係の点呼を受ける。同時にトラック種目出場者は腰ナンバーカード

(4×100mR 第4走者、4×400mR 第2・3・4走者)を受け取り、右腰やや後方に付けること。(ナンバーカード、スパイク、商標等の確認)

- ②点呼の代理は認めない。招集完了時刻に遅れたものは、棄権したものとして処理する。ただし、2種目同時に兼ねて出場する競技者は、代理人の点呼を認める。代理人は、同校同種目に出る選手が代理人を兼ねてもよい。

(4) リレー種目について

- ①リレー・オーダー用紙は、各ラウンド（予選・準決勝・決勝）ともに、第1組目の招集完了時刻の1時間前までに、招集所まで提出すること。オーダー用紙はプログラム巻末の用紙を使用すること。

- ②点呼は、4人全員で受けること。(他種目に出場している場合は代理人可)

- ③4×100mRのマーカは、大会本部で準備する。(各コーナーの出発係より粘着テープ配布)

- (5) 事前に欠場の種目がある場合は、招集開始時刻までにプログラム巻末の欠場届に必要事項を記入し競技者係に提出すること。

- (6) 招集所からスタート地点・跳躍ピット・投てきピットへ行く場合、競技者係の指示に従うこと。

4, 競技進行について

- (1) 番組編成及び競技の抽選について

- ①予選におけるレーン順、試技順は、プログラム記載の番号順とする。準決勝以降の組み合わせは

すべて番組編成員が行い、記録掲示付近と招集所で発表する。

- ②トラック競技において次のラウンドへ進出する際、その最下位で同タイム（1/1000単位）が出た場合、下記の方法によって進出者を決定する。
 - ・空きレーンがある場合 同タイム者の進出を認める。
 - ・それでも決められない場合 本人または代理人により抽選する。
- ③オープン・レーンを使用する種目（800mを含む）は、同タイム（1/1000秒単位）の競技者は全員次のラウンドに進める。

（2）競技について

- ①スパイクのピンは、全天候型の9mm以下のものを使用する。但し、走高跳・やり投については、12mm以下とする。本数は11本以内とする。
- ②ナンバーカードは配布された大きさのままでユニフォームの胸部と背部に付けること。ただし、跳躍競技に出場する競技者は、胸部または背部だけでよい。
- ③4×100mRのマーカは競技終了後、必ず自チームのマークを前走者が取り除くこと。
- ④競技場内での練習は、競技審判員の指示に従うこと。
- ⑤フィールド競技において、コーチの助言が競技の進行を妨げないようにするため、近接の観客席にコーチ席を設けるので、競技者への助言はすべてコーチ席から行うこと。
- ⑥競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたりしている競技者は失格の対象となる。フィールド競技に出場している競技者が、それ以前の試技映像をコーチ席以外の場所で見ることや、録画再生機器等をスタンドからの手渡しや吊り下げにより競技区域内に持ち込むことは認めない。
- ⑦競技場内の練習は競技役員の指示に従うこと。

（3）走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。

男子走高跳	1年	1m70・1m85（練）	1 m 7 5 - 8 0 - 8 3 - 8 6 . . . 以後3cmずつ上げる
	2年	1m75・1m90（練）	1 m 8 0 - 8 3 - 8 6 - 8 9 . . . 以後3cmずつ上げる
女子走高跳	1年	1m44・1m56（練）	1 m 4 7 - 5 0 - 5 3 - 5 6 . . . 以後3cmずつ上げる
	2年	1m47・1m59（練）	1 m 5 0 - 5 3 - 5 6 - 5 9 . . . 以後3cmずつ上げる
男子棒高跳	1年	3m30・4m20（練）	3 m 4 0 - 6 0 - 8 0 - 9 0 . . . 以後10cmずつ上げる
	2年	3m50・4m50（練）	3 m 6 0 - 8 0 - 4 m 0 0 . . . 以後10cmずつ上げる
女子棒高跳	1年	2m20・2m80（練）	2 m 3 0 - 4 0 - 5 0 - 6 0 . . . 以後10cmずつ上げる
	2年	2m30・3m30（練）	2 m 4 0 - 6 0 - 8 0 - 3 m 0 0 . . . 以後10cmずつ上げる

同記録による1位決定の上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

（4）男女5000mWは競技運営上の理由により、以下のタイムを超えて周回を残している場合ゴール地点で競技を中止させる。

男子 5000mW 30分 女子 5000mW 35分

5、競技用具について

- （1）棒高跳ポール及びやり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用すること。
- （2）やりの検査は、競技開始80分前より60分前までに、フィニッシュライン側横の用器具庫で行う。（用器具庫外側にやり検定場所の表示）

6、抗議について

抗議は、日本陸上競技連盟競技規則により、各府県監督（当該校顧問同伴）が所定の手続きをとるものとする。

7、表彰について

- （1）各種目第3位までの入賞者（リレーは6位まで）を表彰する。成績発表後直ちに、受賞者席（競技場正面玄関内ロビー）に集合すること。他の種目に出場している場合は、必ず代理人が表彰係まで連絡すること。

- (2) 閉会式（表彰式）では以下の表彰を行うので当該校（者）は必ず参加すること。
- ・総合の部3位までの入賞校（男子総合・女子総合、学年別男子・学年別女子）
 - ・男女各学年の優秀競技者
 - ・男女各総合優勝校の監督

8, その他

- (1) 競技場の開門は、3日間とも7時30分とする。
- (2) 記録はメインスタンド外の記録掲示テント内に掲示する。
- (3) 場所取りについて
- メインスタンド
メインスタンドでのテントの設置・シート等での場所取りを禁止する。
ロイヤルボックス・2Fトイレ前通路は各府県の監督・選手用に割り当てるので場所取りはできない。
 - 芝スタンド
各府県で割り当てられた場所を3日間各校の場所として使用することができる。
ただし、以下の点に注意すること。
 - ・場所は、通路から2m以上は空けること。
 - ・コーチ席、ビデオカメラ設置場所等で規制されている場所は避けること。
 - ・テントを設置する場合、周囲の黒いフェンスにロープ等をくくり付けないこと。
 - ・競技終了後テントはたたみ、荷物は飛ばないようにして、最上部にまとめて置いておいてよいが、管理責任は負わない。
 - 競技場外
競技場外のテント・シートの設置場所は割り当てられた場所に設置し通行等の妨げにならないように配慮すること。競技終了後テントはたたみ、荷物は飛ばないようにして、置いておいてよいが、管理責任は負わない。
 - 9月14日（木）のテント設置は、競技場外12:00～、競技場内は13:00～とする。
- (4) のぼり・横断幕等について
- ・横断幕は指定された場所に設置し、メインスタンドは最後部の手すりに、芝スタンドは最前部のコンクリートフェンスに設置すること。後ろの黒いフェンスにくくり付けないこと。
 - ・のぼりは各スタンドの最後部に設置すること。但し、後ろの黒いフェンスにはくくり付けないこと。
- (5) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での連呼応援・かけ声は自粛すること。
- (6) 更衣は競技場内にある男女の更衣室を使用すること。なお正面玄関からの出入りは禁止する。使用後はすみやかに退室し、場所取り等を行わないこと。
- (7) 競技中における事故、負傷については、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (8) スタンド及び競技場周辺の使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミ等は各校で責任を持って持ち帰ること。（ゴール外側のゴミ用コンテナの利用可）
駅・競技場周辺のゴミ箱等には絶対に放置しないこと。
- (9) 競技場の中に商品名・商社名のついた衣類・バック類を持ち込む場合は、日本陸上競技連盟規則に従うこと。（招集時にチェックを行うので注意すること）
- (10) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。
- (11) ポールの保管場所はゴール側器具庫内に設ける。